

たまむしの森

— 谷川士清の会会報 — 第18号

発行年月日
平成29年3月31日
谷川士清の会

— 生成発展に向けて —

代表 池村幸久

東京オリンピックの開催予定年は2020年。元号がどうなっているかは日本国民の一人として大いに関心を持つ所ですが、奇しくもオリンピックの年は「日本書紀」編纂1300年の年に当たり、「谷川士清の会」会員としては、別の意味で種々の視座を持ち、研鑽を深めねばならないと考えます。

「倭訓栞」の偉業をさらに顕彰し、郷土津市が生んだ偉大なる国語学者としての谷川士清翁とその元、基である「日本書紀通證」の著者・完成者である国学者としての谷川士清翁の業績を加味して、更にさらに評価を高めたく考えております。

期せずして、この1年間には3つの嬉しいことがありました。

第1には、谷川士清先生研究の第1人者三澤薫生和洋女子大学教授がご入会、早々に「顕彰内容」の手違い?のご指摘も頂きました。また清泉女子大学大学院生に続き、国学院大学大学院の学生がご入会下さり、新しい視座で「士清像」を伝えてくれています。大学生の入会も含めると研究面の充実だけでなく、永年の課題であった会員高齢化のストップに成功しています。

第2は「松浦武四郎友の会」様との交流が深まったこと。市外の有力団体との交流は今後も引き続き行いたいと考えます。津市内の団体も、私たちが所属している「津市観光ボランティアガイドネットワーク協議会」の他団体との相互訪問に加えて「パナソニック松寿会」様のメンバーにお越しいただき広い視野からのご示唆を頂きました。

第3には、特別会員の皆様様のお力添えと行政の支えがあつての事ですが、この一年間はメディアへの発信ができ、谷川士清先生をもっと知ってもらいたいという一番の我々の願いが大いに勇気づけられました。

「谷川ことすが書道コンクール」・「ことすが祭」等のルーティンの報道だけでなく、百五銀行様発刊の「すばらしき‘みえ’」2016年10月号でのご紹介、そして、三重テレビ放送2017年2月20日放送「ええじゃないか、津市等」での放映、「ええじゃないか」は千葉県や埼玉県、京都府でも放映されており、大いに顕彰活動に役立ったと感謝しております。本年度も「守・破・離」の基本観で事の判断を行い、「衆知を集め」、「成功したら他人のお陰、失敗したら自分が悪い」という師（松下幸之助翁）の言葉を更に深く腹に入れて、会の運営に勤しみ、前業市長の目指す「風格ある県都」にある一団体として恥ずかしくないよう努力します。



1月29日(土)「谷川士清の会」新年会
津駅前「松重」にてランチすぎ焼き定食

— 平成29年度の主な活動予定 (抄) —

- * 4月15日(土) 10:00~11:30 「谷川士清の会」29年度総会 於；図書館2F研究会議室
- * 5月10日(水) 10:00~12:00 「士清まつり」紙芝居など・お茶会あり 於；士清旧宅
- * 7月22日(土)又は29日(土) 9:30~午前中 「親子洞津谷川塾」小学校4年~6年生と保護者対象
- * 6月から「士清勉強会」ほぼ第3土曜日午前中 於；図書館2F研究会議室
- * 士清講演会(会員募集兼観光ボランティアガイド養成講座)は9月~10月に
- * 小中学生「谷川ことすが書道コンクール」の日程決まる。

30年2月23日(金)~25日(日) 作品展示と表彰式(津リージョンプラザ3F生活情報室)

津市観光ガイドネットでは、「わかみちよりみち初瀬街道」と銘打って、街道を歩くイベントを計画中。

その他、日常的なガイド要請や道の駅「津かわげ」での活動もいろいろありそう。